

平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 5月31日(土)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会1日目	Cコート	第5試合 15:00~	
<チームA> 都立駒場 東京 7位		80 { 25 1Q 25 } { 11 2Q 17 } { 21 3Q 21 } { 23 4Q 27 }		<チームB> 柏市立柏 千葉 3位	

【Bブロック】

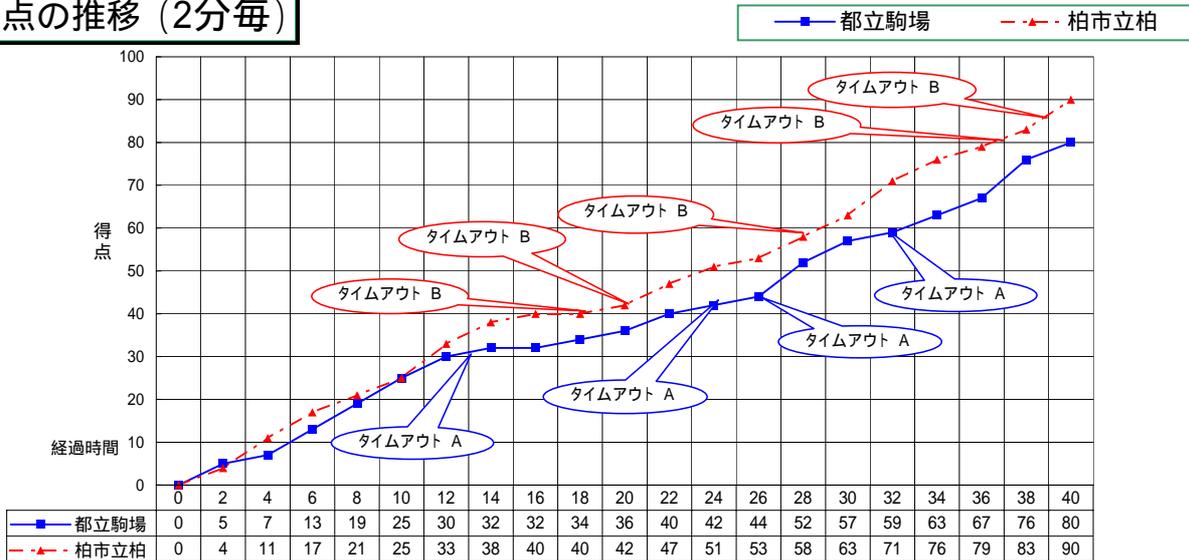
主審：尾花 幸雄(茨城) 副審：小松崎智弘(茨城)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	丸山 大貴	8		4		5
	5	鄭 卓	4		2		4
	6	豊島 慎慈					1
	7	甲斐 智之	18		7	4	
	8	渡邊 樹					
	9	梅原 理樹	25		10	5	3
	10	中村 裕之	3	1			4
	11	岩尾 俊幸	6		3		1
	12	高畑 魁斗					
	13	吉村 圭太					
	14	金井 雄希					
	15	水島 篤					
	16	中山 亮平					
	17	丸山 元熙	2		1		
	18	小林 祐紀	14		5	4	2
コーチ		那 須 晋					
合計			80	1	32	13	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	林 裕輝	6	2			4
	5	小山 哲	32	3	9	5	3
	6	吉田 開	1			1	1
	7	大久保 和士	6	2			4
	8	小林 秀平	16	2	3	4	3
	9	佐々木 翔平					
	10	與那城 廣仁					
	11	石川 駿					
	12	菊池 優祐	14	1	4	3	2
	13	服部 雄登					
	14	小杉 智希	13		6	1	2
	15	矢代 翔					
	16	牧 良輔					
	17	岡田 福嗣	2		1		2
	18	谷口 潤					
コーチ		稲野辺 聡					
合計			90	10	23	14	

：スターター / 出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

得点の推移 (2分毎)



戦 評

記入者：長谷川 智子

第1P、両チームともにハーフコートマンツーマンでゲームスタート。市柏は、リバウンドからの速攻、連続3pなど 小山を中心に得点し流れをつかもうとする。対する駒場は、梅原を起点としたインサイドプレーとアウトサイドへのパスワークなどでディフェンスを動かして25-25の同点で第1P終了。

第2P、市柏は、開始2分、連続で7得点あげ、駒場はタイムアウト。その直後に、市柏はオールコートマンツーマンをしかけ相手のミスを誘う。しかしながら、駒場 梅原が落ち着いてステップインからのシュートやリバウンドなどで地道に得点を重ねる粘りを見せ、市柏6点リードで前半終了。

第3P、駒場 豊島が市柏 林に対し執拗なディフェンスをし、途中1-2-2のゾーンプレスをし、市柏のリズムを狂わそうとする。市柏、最終リードするもなかなか波に乗り切れず市柏6点差リードは変わらない。

第4P、市柏の2連続のバスケットカウントでゲームが動き出す。駒場開始1分30秒、早くも後半3回目のタイムアウトを請求、また 豊島の負傷退場により流れが徐々に市柏に。最大13点差ひろくも、あきらめない駒場は、オールコートでディフェンスをし、得点に成功。また相手のファウルを誘い、残り2分には3点差までおいつきゲームは混沌とする。しかしながら、最後は市柏 林がゲームをコントロールし、結局、10点差をつけて、市柏がベスト4に進出した。